過去に出題された問題

解答は最後のページに掲載されています。

問題で使用されている「消防法令」、「規格省令」及び「消防庁告示」とは、次のとおりです。

消 防 法 令　…消防法、消防法施行令、消防法施行規則、危険物の規制に関する政令又は危険物の規制に関する規則をいう。
規 格 省 令　…消防法の規定に基づく技術上の規格を定める省令をいう。
消防庁告示　…消防法施行規則の規定に基づく技術上の基準又は消防法施行規則の規定に基づく技術上の基準の細目をいう。

乙種

筆記試験

消防関係法令

【共通　第１～７類】

［問　１］　消防法令上、特定防火対象物に該当しないものは、次のうちどれか。

１　百貨店
２　共同住宅
３　病院
４　旅館

【共通　第１～７類】

［問　２］　消防用設備等を設置しなければならない複合用途防火対象物に関する説明として、消防法令上、正しいものは次のうちどれか。

１　複合用途防火対象物については、全体を１つの用途の防火対象物とみなして、消防用設備等の設置をする場合がある。

２　複合用途防火対象物については、すべての消防用設備等について、それぞれの用途区分ごとに適応するものを設置しなければならない。

３　複合用途防火対象物については、主たる用途区分に適応する消防用設備等を設置しなければならない。

４　複合用途防火対象物とは、耐火構造の床又は壁で区画された、それぞれ別の用途の防火対象物の集合した建築物である。

【共通　第１～７類】

［問　３］　消防の用に供する機械器具等の検定について、消防法令上、誤っているものは次のうちどれか。

１　型式承認とは、検定対象機械器具等の型式に係る形状等が総務省令で定める検定対象機械器具等に係る技術上の規格に適合している旨の承認をいう。

２　検定対象機械器具等は、型式承認を受けたものであれば、型式適合検定に合格したものである旨の表示の有無にかかわらず販売の目的で陳列することができる。

３　型式適合検定とは、検定対象機械器具等の形状等が型式承認を受けた検定対象機械器具等の型式に係る形状等に適合しているかどうかについて総務省令で定める方法により行う検定をいう。

４　検定対象機械器具等とは、消防の用に供する機械器具等のうち、一定の形状等を有しないときは火災の予防若しくは警戒、消火又は人命の救助等のために重大な支障を生ずるおそれのあるものであり、かつ、その使用状況からみて当該形状等を有することについてあらかじめ検査を受ける必要があると認められるものであって、政令で定めるものをいう。

【共通　第１～７類】

［問　４］　消防法令上、消火設備に該当しないものは、次のうちどれか。

１　屋内消火栓設備
２　スプリンクラー設備
３　動力消防ポンプ設備
４　連結散水設備

【共通　第１～７類】

［問　５］　消防用設備等が設備等技術基準に従って維持されていない場合、消防長又は消防署長から必要な措置を行うよう命令を受ける者として、消防法令上、正しいものは次のうちどれか。

１　防火対象物の関係者で権原を有する者
２　防火対象物の工事責任者
３　当該消防用設備等を工事した消防設備士
４　当該消防用設備等を点検した消防設備士

【共通　第１～７類】

［問　６］　消防用設備等の定期点検及び報告について、消防法令上、誤っているものは次のうちどれか。

１　消防設備士は、消防用設備等の点検結果について、消防長又は消防署長に報告しなければならない。
２　消防用設備等の点検の種類は、機器点検及び総合点検である。
３　点検の対象となる消防用設備等は、消防法施行令第７条で定める消火設備、警報設備、避難設備、消防用水及び消火活動上必要な施設である。
４　特定防火対象物で延べ面積が１，０００m^2以上のものについては、消防設備士又は消防設備点検資格者に消防用設備等の点検をさせなければならない。

【共通　第１～７類】

［問　７］　消防設備士が行う工事及び整備について、消防法令上、正しいものは次のうちどれか。

１　乙種消防設備士は、消防設備士免状に指定された種類の消防用設備等の工事及び整備を行うことができる。

２　乙種消防設備士は、消防設備士免状に指定された種類の消防用設備等の整備のみを行うことができる。

３　甲種消防設備士は、消防設備士免状に指定された種類の消防用設備等の整備のみを行うことができる。

４　甲種消防設備士は、消防設備士免状に指定された種類の消防用設備等の工事のみを行うことができる。

【類別　第１類】

［問　８］　防火対象物の駐車の用に供される部分に設置する水噴霧消火設備の排水設備の基準について、消防法令上、誤っているものは次のうちどれか。

１　車両が駐車する場所の床面には、排水溝に向かって $\frac{2}{100}$ 以上の勾配をつけること。

２　車両が駐車する場所には、車路に接する部分を除き、高さ５ｃｍ以上の区画境界堤を設けること。

３　排水溝は、長さ４０ｍ以内ごとに１個の集水管を設け、消火ピットに連結すること。

４　排水溝及び集水管は、加圧送水装置の最大能力の水量を有効に排水できる大きさ及び勾配を有すること。

【類別　第２類】

［問　９］　泡消火設備に関する設置基準として、消防法令上、誤っているものは次のうちどれか。

１　全域放出方式の高発泡用泡放出口は、一の防護区画の床面積５００m^2ごとに１個以上を当該区画に泡を有効に放出できるように設けること。

２　フォームヘッドは、防火対象物又はその部分の天井又は小屋裏に床面積１０m^2につき１個以上設けること。

３　移動式の泡消火設備の泡放射用器具を格納する箱の上部には、赤色の灯火を設けること。

４　泡水溶液の最小必要量は、配管内を満たすに要する泡水溶液の量に規定の放射量を加えたものとすること。

【類別　第３類】

［問　１０］　二酸化炭素を放射する不活性ガス消火設備の貯蔵容器の設置基準について、消防法令上、誤っているものは次のうちどれか。

１　貯蔵容器の充てん比は、高圧式のものにあっては１．５以上１．９以下であること。

２　貯蔵容器の充てん比は、低圧式のものにあっては１．１以上１．４以下であること。

３　防護区画内で出入口近くの場所に設けること。

４　直射日光及び雨水のかかるおそれの少ない場所に設けること。

【類別　第４類】

［問　１１］　自動火災報知設備の警戒区域に関する次の記述のうち、文中の【　】に当てはまる数値の組合せとして、消防法令上、正しいものはどれか。

「光電式分離型感知器を設置する場合を除き、自動火災報知設備の一の警戒区域の面積は、【ア】m^2以下とし、その一辺の長さは、【イ】m以下とすること。ただし、当該防火対象物の主要な出入口からその内部を見通すことができる場合にあっては、その面積を【ウ】m^2以下とすることができる。」

	【ア】	【イ】	【ウ】
1	６００	５０	１，５００
2	６００	５０	１，０００
3	８００	１００	１，５００
4	８００	１００	１，０００

【類別　第５類】

［問　１２］　避難器具の設置義務の判定方法について、消防法令上、正しいものは次のうちどれか。

1　防火対象物のいずれかの階に設置義務があれば、他の階にもすべて設置義務を生じる。
2　３階以上の無窓階であれば、用途に関係なく設置義務を生じる。
3　収容人員は、防火対象物全体について算定する。
4　地階でも避難器具の設置義務を生じる場合がある。

【類別　第６類】

［問　１３］　次の消火器のうち、地下街（消防法施行令別表第一(16の2)項）に設置できるものとして、消防法令上、正しいものの組み合わせはどれか。

ア　霧状の強化液を放射する消火器
イ　二酸化炭素を放射する消火器
ウ　消火粉末を放射する消火器のうち、りん酸塩類等を使用するもの

1　ア、イ のみ
2　ア、ウ のみ
3　イ、ウ のみ
4　ア、イ、ウ すべて

【類別　第７類】

［問　１４］　次の文中の【　】に当てはまる数値の組合せとして、消防法令上、正しいものはどれか。

「飲食店と事務所が共存する複合用途防火対象物のうち、延べ面積が【ア】m^2以上で、かつ、飲食店の部分の床面積の合計が【イ】m^2以上のものには、建築物の部分に使用されている材料によっては漏電火災警報器を設置しなければならない。」

	【ア】	【イ】
1	３００	１５０
2	３００	２００
3	５００	２５０
4	５００	３００

機械又は電気に関する基礎的知識

【機械　第１～３、５、６類】

［問　１５］　一般に、炭素鋼を高温度で加熱して急冷する熱処理の呼び方として、正しいものは次のうちどれか。

1　焼なまし
2　焼入れ
3　焼ならし
4　焼もどし

【機械　第１～３類】

［問　１６］　水平な直管内を水が流れている場合、流速のみを２倍にすると、摩擦損失水頭は何倍になるか。

1　０．５　倍
2　２．０　倍
3　３．０　倍
4　４．０　倍

【機械　第１～３、５、６類】

［問　１７］　質量１０，０００ｋｇのトラックが時速３６ｋｍで走っているときの運動エネルギーとして、正しいものは次のうちどれか。

１　２５０ｋＪ
２　３６０ｋＪ
３　５００ｋＪ
４　７２０ｋＪ

【機械　第１～３、５、６類】

［問　１８］　短い円柱形の軟鋼棒の軸方向に、圧縮荷重５０，０００Ｎを加えたとき、圧縮応力が１２５ＭＰａであった。この軟鋼棒の断面積として、正しいものは次のうちどれか。

１　２５０㎟
２　４００㎟
３　６４５㎟
４　８００㎟

【機械　第５、６類】

［問　１９］　一定質量の気体の体積、圧力及び絶対温度に関するボイル・シャルルの法則について、正しいものは次のうちどれか。

１　気体の体積は圧力に反比例し、絶対温度に比例する。
２　気体の体積は圧力に比例し、絶対温度に反比例する。
３　気体の体積は圧力の２乗に反比例し、絶対温度に比例する。
４　気体の体積は圧力の２乗に比例し、絶対温度に反比例する。

【電気　第１～４、７類】

［問　２０］　電気材料の一般的な説明のうち、誤っているものは次のうちどれか。

１　銀は導体で、フェノール樹脂は不導体である。
２　亜酸化銅は導体で、ガラスは不導体である。
３　シリコンは半導体で、アルミナは不導体である。
４　タングステンは導体で、ゲルマニウムは半導体である。

【電気　第１～４、７類】

［問　２１］　３Ωの抵抗と６Ωの抵抗とを並列に接続した回路に、直流２４Ｖの電圧を加えたとき、この回路に流れる電流の値として、正しいものは次のうちどれか。

１　　３Ａ
２　　６Ａ
３　１２Ａ
４　２４Ａ

【電気　第１～４、７類】

［問　２２］　正弦波交流について、誤っているものは次のうちどれか。

１　正弦波交流の電圧の平均値は、その最大値の $\frac{2}{\pi}$ 倍である。

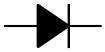
２　正弦波交流の電流の実効値は、その最大値の $\frac{\sqrt{2}}{\pi}$ 倍である。

３　インダクタンスだけをもつ回路に、正弦波交流の電圧を加えると、電流の位相は電圧の位相よりも $\frac{\pi}{2}$〔rad〕だけ遅れる。

４　静電容量だけをもつ回路に、正弦波交流の電圧を加えると、電流の位相は、電圧の位相よりも $\frac{\pi}{2}$〔rad〕だけ進む。

【電気　第１～４、７類】

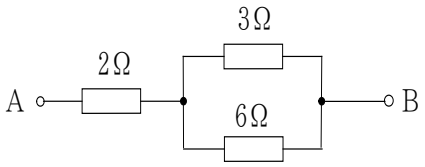
［問　２３］　指示電気計器の目盛板上に表示されている動作原理の記号で、「可動コイル形」を示すものは、次のうちどれか。

1 　2  　3 　4

【電気　第１～４、７類】

［問　２４］　下の図の回路におけるＡ－Ｂ間の合成抵抗値として、正しいものは次のうちどれか。

１　２Ω
２　４Ω
３　６Ω
４　８Ω



消防用設備等の構造、機能及び整備の方法

【機械　第１類】

［問　２５］　工場に設置する屋内消火栓設備のノズルの先端における放水圧力として、消防法令に定められているものは次のうちどれか。

１　０．１７ＭＰａ以上０．８ＭＰａ以下
２　０．１７ＭＰａ以上０．７ＭＰａ以下
３　０．２１ＭＰａ以上０．８ＭＰａ以下
４　０．２１ＭＰａ以上０．７ＭＰａ以下

【機械　第２類】

［問　２６］　泡消火設備の泡消火薬剤混合装置の重要な機能の一つとして、正しいものは次のうちどれか。

1　泡水溶液の膨張比を一定に保持する。
2　泡消火薬剤と消火用水との混合比を一定に保持する。
3　泡水溶液の放出量を一定に保持する。
4　泡水溶液と空気との混合比を一定に保持する。

【機械　第３類】

［問　２７］　全域放出方式又は局所放出方式の不活性ガス消火設備に設ける選択弁の設置に関する技術上の基準として、誤っているものは次のうちどれか。

1　一の防火対象物に防護区画が２以上存する場合において貯蔵容器を共用するときは、防護区画ごとに選択弁を設けること。
2　貯蔵容器から噴射ヘッドまでの間に選択弁を設けるものには、選択弁と噴射ヘッドの間に消防庁長官が定める基準に適合する安全装置又は破壊板を設けること。
3　選択弁には、選択弁である旨及びいずれの防護区画の選択弁であるかを表示すること。
4　選択弁は、防護区画以外の場所に設けること。

【機械　第５類】

［問　２８］　救助袋に関する次の記述のうち、文中の【　】に当てはまる数値の組合せとして、消防庁告示上、正しいものはどれか。

「救助袋（避難器具用ハッチに格納した救助袋を除く。）の操作面積は、救助袋の設置部分を含み、幅【ア】m以上、奥行【イ】m以上とすること。ただし、操作に支障のない範囲内で形状を変えることができるものとし、この場合の操作面積は、【ウ】m^2以上とすること。」

	【ア】	【イ】	【ウ】
1	１．０	１．０	２．０
2	１．０	１．５	２．５
3	１．５	１．０	２．５
4	１．５	１．５	２．２５

【機械　第６類】

［問　２９］　消火器の性能に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

１　粉末消火器には、普通火災、油火災及び電気火災のいずれの消火にも適応するものがある。
２　機械泡消火器は、水成膜泡等を使用し、普通火災及び油火災の消火に適応する。
３　強化液消火器は、水系消火器として冷却作用と再燃防止作用を有することから、普通火災の消火のみに適応する。
４　二酸化炭素消火器は、消火後の汚損も少なく電気絶縁性も大きいので、電気火災の消火に適応する。

【電気　第１～３類】

［問　３０］　消火設備の非常電源としての自家発電設備について、誤っているものは次のうちどれか。

１　点検に便利で、かつ、火災等の災害による被害を受けるおそれが少ない箇所に設けること。
２　開閉器には、その消火設備用である旨の表示をすること。
３　配線は、伸縮や振動を考慮し、接続部は緩みをもたせて接続すること。
４　機器及び配電盤は、床、壁、柱等に堅固に固定される等、地震による震動等に耐えるための有効な措置が講じられていること。

【電気　第１～４類】

［問　３１］　非常電源専用受電設備の第１種配電盤等の基準として、消防庁告示上、誤っているものは次のうちどれか。

１　一の非常電源回路は、他の非常電源回路又は他の電源回路の開閉器若しくは遮断器によって遮断されないものであること。
２　キャビネットは、金属管又は金属製可とう電線管を容易に接続することができ、かつ、当該接続部分に断熱措置を容易に講ずることができるものであること。
３　キャビネットには、１２０℃の温度を加えた場合において破壊されない電圧計を外部に露出して設けることができること。
４　各充電部相互の間及び充電部とキャビネットとの間の絶縁抵抗は、直流５００Ｖの絶縁抵抗計で測定した値が５ＭΩ以上であること。

【電気　第１～４類】

［問　３２］　非常電源の耐火配線の工事方法として､最も不適当なものは次のうちどれか。

１　６００Ｖ２種ビニル絶縁電線による金属管工事
２　ＭＩケーブルによる配線工事
３　シリコンゴム絶縁電線を合成樹脂管に収め、耐火構造の壁に２０mm以上埋設する工事
４　消防庁長官が定める基準に適合する耐火電線による配線工事

【電気　第４類】

［問　３３］　感知器のリーク孔の説明で、最も適当なものは次のうちどれか。

１　過熱防止のための空気逃し孔である。
２　緩慢な温度上昇に対する膨張した空気を逃がすのが目的である。
３　空気室に煙を入れる通路である。
４　差動式スポット型のものにはあるが、差動式分布型（空気管式）のものにはない。

【電気　第７類】

［問　３４］　漏電火災警報器の機器点検で、特に点検をする必要のないものは、次のうちどれか。

１　変流器の端子と配線が確実に接続されているかどうかを点検する。
２　分割型の変流器は、ねじのゆるみがないかどうかを点検する。
３　変流器の二次側配線に断線があるかどうかを点検する。
４　変流器の二次側配線が規定の長さであるかどうかを点検する。

【規格　第１類】

［問　３５］　放水型ヘッド等を用いるスプリンクラー設備に関する次の記述のうち、文中の【　】に当てはまる数値の組合せとして、消防庁告示上、正しいものはどれか。

「固定式ヘッドのうち、小型ヘッドの有効放水範囲は、当該ヘッドの使用圧力の範囲内において放水した場合に、１分間当たりの放水量を【ア】Ｌ/m^2で除して得られた範囲内で、かつ、１m^2当たりの散水量が【イ】Ｌ/min以上となる範囲としなければならない。」

	【ア】	【イ】
1	１０	１．２
2	５	２．４
3	５	１．２
4	１０	２．４

【規格　第１、２類】

［問　３６］　ポンプ方式の加圧送水装置の構造について、消防庁告示で定められた事項として、誤っているものは次のうちどれか。

１　回転する部分又は高温となる部分であって、人が触れるおそれのある部分は、安全上支障のないようにカバーを設けるなどの措置が講じられていること。

２　電気配線、電気端子、電気開閉器等の電気部品は、湿気又は水により機能に異常が生じないように措置が講じられたものであること。

３　腐食するおそれのある部分は、有効な防食処理を施したものであること。

４　点検及び部品の取替えが容易にできないものであること。

【規格　第３類】

［問　３７］　二酸化炭素を放射する不活性ガス消火設備の容器弁の基準において、温度試験を実施する場合の周囲温度の範囲として、消防庁告示上、正しいものは次のうちどれか。

１　－２０℃ ～ ４０℃

２　－１０℃ ～ ５０℃

３　－５℃ ～ ６０℃

４　０℃ ～ ５０℃

【規格　第４類】

［問　３８］　受信機に関する次の記述のうち、文中の【　】に当てはまる名称として、規格省令上、正しいものはどれか。

「ガス漏れ信号を受信し、ガス漏れの発生を防火対象物の関係者に報知するものを【　】という。」

１　Ｐ型受信機
２　Ｒ型受信機
３　M型受信機
４　Ｇ型受信機

【規格　第５類】

［問　３９］　金属製立てかけはしごの構造について、規格省令上、誤っているものは次のうちどれか。

１　上部支持点に、滑り及び転倒を防止するための安全装置を設けてあること。
２　折りたたみができる構造のものは、使用の際、自動的に作動する折りたたみ防止装置が設けてあること。
３　伸縮できる構造のものは、使用の際、自動的に作動する縮梯（しゅくてい）防止装置を設けてあること。
４　下部支持点に、搬送を容易にするための滑り装置を設けてあること。

【規格　第５類】

［問　４０］　避難器具に関する用語のうち、消防庁告示上、誤っているものは次のうちどれか。

１　避難通路とは、避難器具が設置してある場所に通ずる通路をいう。
２　操作面積とは、避難器具を使用できる状態にするための操作に必要な当該避難器具の取付部付近の床等の面積をいう。
３　降下空間とは、避難器具を使用できる状態にした場合に、当該避難器具の設置階から地盤面その他の降着面までの当該避難器具の周囲に保有しなければならない避難上必要な空間をいう。
４　避難空地とは、避難器具の降着面等付近に必要な避難上の空地をいう。

【規格　第６類】

［問　４１］　消火器の安全栓について、規格省令上、誤っているものは次のうちどれか。

１　不時の作動を防止するために設けるものである。
２　手動ポンプにより作動する水消火器と転倒の１動作で作動する泡消火器には設けなくてもよい。
３　消火器の作動操作の途中において自動的にはずれるものであること。
４　１動作で容易に引き抜くことができ、かつ、その引き抜きに支障のない封が施されているものであること。

【規格　第７類】

［問　４２］　漏電火災警報器を取り付けることができる警戒電路の電圧について、規格省令に定められているものは次のうちどれか。

１　７００Ｖ以下であること。
２　６００Ｖ以下であること。
３　３００Ｖ以下であること。
４　２００Ｖ以下であること。

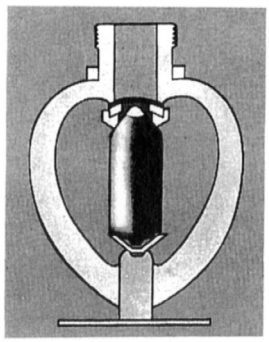
実技試験

鑑別等

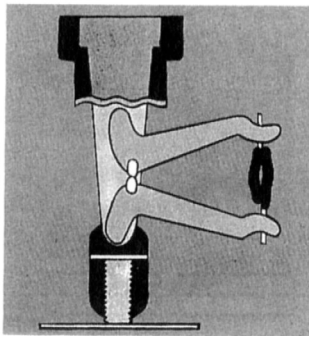
【第１類】

下の図は、２種類の閉鎖型スプリンクラーヘッドを示したものである。次の各設問に答えなさい。

A



B



1　次の文は、閉鎖型スプリンクラーヘッドを用いたスプリンクラー設備の起動方法について述べたものである。文中の［　　］に当てはまる語句を、下記の語群から選び記号で答えなさい。

> 閉鎖型スプリンクラーヘッドを用いたスプリンクラー設備は、火災が発生するとその熱によりヘッドの［①］が溶けるか［②］が割れるかして感熱部を構成する部分が分解して放水口が開口することにより、配管内の加圧水が放水する。
>
> その時、配管内の［③］が低下し、流水検知装置に設けた［④］が作動して加圧送水装置のポンプを自動的に運転する。

＜語　群＞

ア．デフレクター	エ．感　知　器	キ．圧力スイッチ
イ．グラスバルブ	オ．圧　力　計	ク．圧　力
ウ．ヒュージブルリンク	カ．リターディングチャンバー	

2　上記［　　］の①及び②は、写真Ａ又はＢで示すヘッドに用いられているが、それぞれどちらのヘッドに使用されているかＡ又はＢの記号で答えなさい。

解答欄

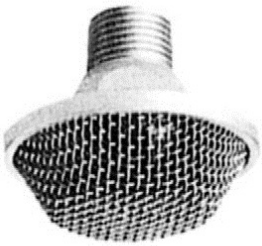
		①	②	③	④
設問１					
設問２	①				
	②				

【第２類】

下の写真は泡消火設備のヘッドを示したものである。次の各設問に答えなさい。

A

B



1　それぞれのヘッドの名称を答えなさい。

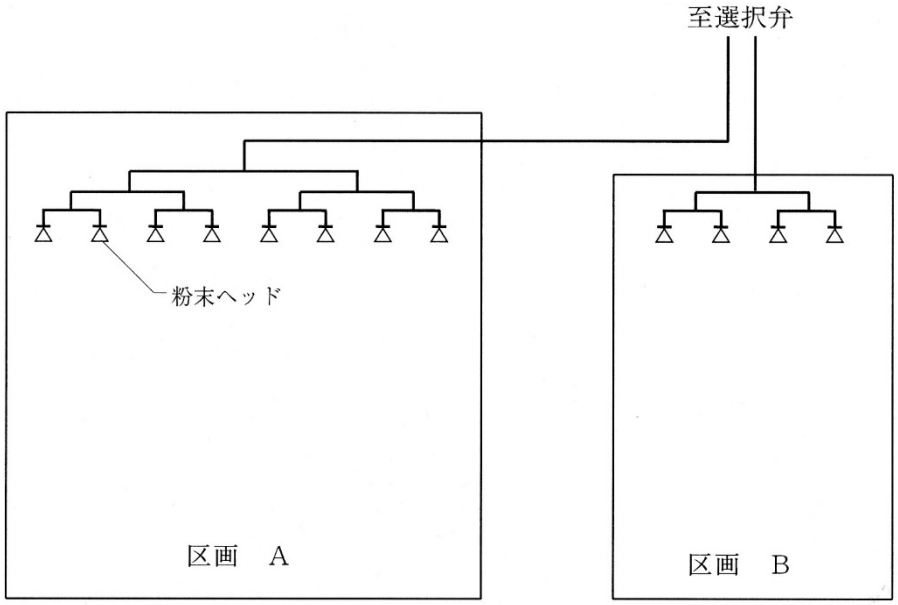
2　屋内の駐車場に設置されるのは、どちらのヘッドか記号で答えなさい。

解答欄

設問 1	A	
	B	
設問 2		

【第３類】

下の図は、粉末消火設備（全域放出方式）の配管構成の一部を概略的に示したものである。この配管構成に関する次の各設問に答えなさい。



1　この区画Ａ、Ｂに示した配管構成を何形式と言うか答えなさい。

2　この配管構成にする理由を答えなさい。

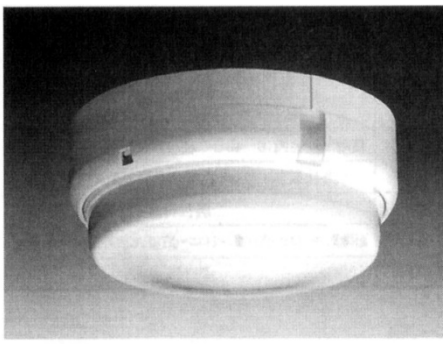
解答欄

設問 1	形式
設問 2	

【第４類】

下の写真Ａ及びＢの感知器の説明として、適当なものを下の**ア**～**エ**の記述から２つずつ選び答えなさい。

Ａ



Ｂ

ア　バイメタルが受熱により反転して、接点を閉じて受信機に信号を送る。

イ　空気室内の空気が温度上昇により膨張し、ダイヤフラムを押し上げて接点を閉じて受信機に信号を送る。

ウ　周囲の温度上昇率が一定の値以上になったときに火災信号を送る。

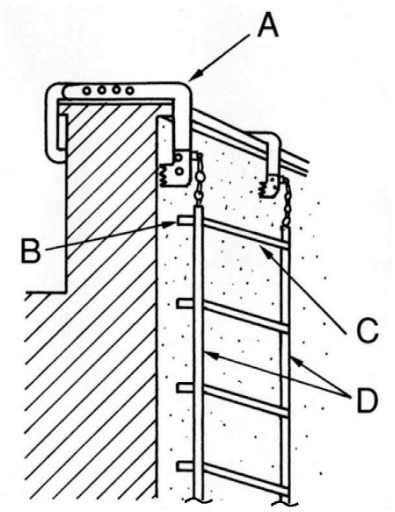
エ　周囲温度が一定の値以上になったときに火災信号を送る。

解答欄

Ａ		
Ｂ		

【第５類】

下の図は、金属製つり下げはしご（折たたみ式）を取り付けた状況の一部を示したものである。Ａ～Ｄで示す各部の名称を答えなさい。

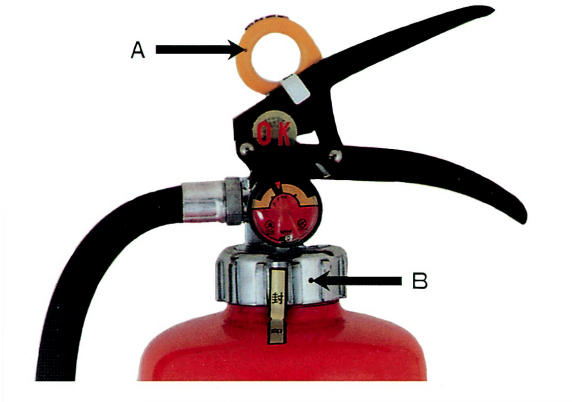


解答欄

A	
B	
C	
D	

【第６類】

下の写真は、消火器の一部である。次の各設問に答えなさい。



1　Ａで示す部分の名称を答えなさい。

2　Ｂで示す部分の働きについての説明を下の語群から選び記号で答えなさい。

＜語　群＞

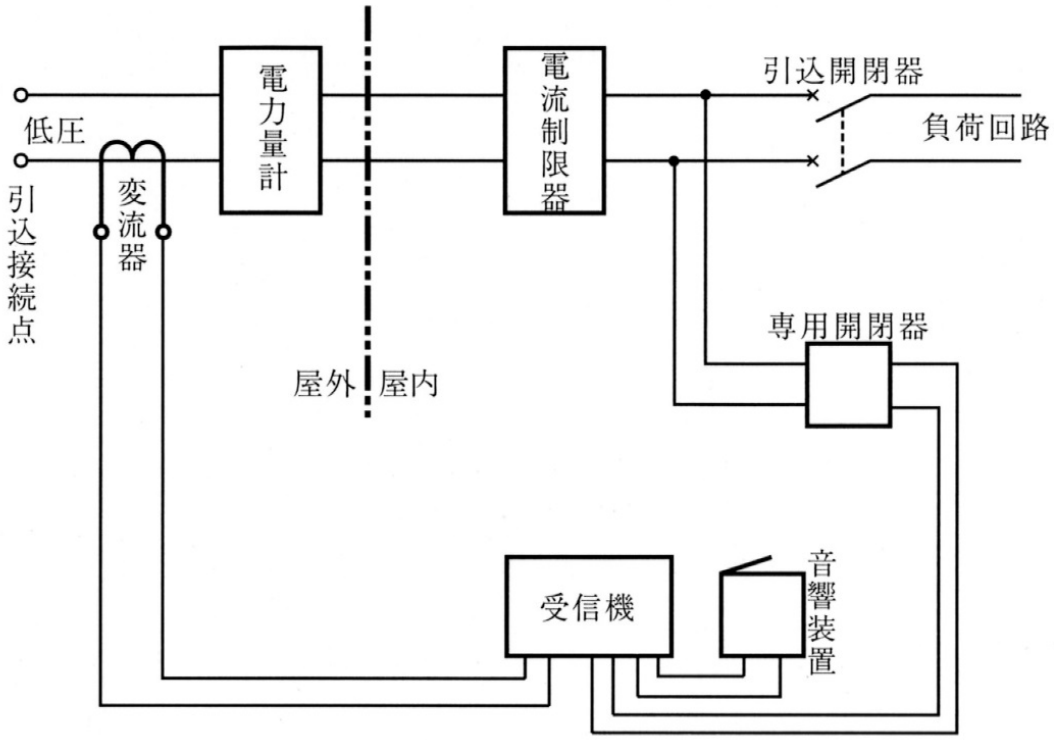
ア．錆つき防止のための注油孔である。
イ．ゆるみ防止のための接着剤注入孔である。
ウ．ゆるみ防止のためのネジ止め用ネジ孔である。
エ．温度変化による内圧変動を防ぐための空気の流通孔である。
オ．キャップをはずす途中で本体容器内の圧力を排出する減圧孔である。
カ．本体容器内の圧力が上昇した時の安全弁である。

解答欄

A		B	

【第７類】

下の図は、誤った方法により設置された漏電火災警報器の配線図である。図中の誤った部分２か所を〇印で囲み、それぞれの誤りとする理由を解答欄に答えなさい。



解答欄

消防設備士試験（乙種）解答（筆記試験）

問題番号	解答	問題番号	解答
1	2	２２	2
2	1	２３	1
3	2	２４	2
4	4	２５	2
5	1	２６	2
6	1	２７	2
7	2	２８	4
8	2	２９	3
9	2	３０	3
１０	3	３１	3
１１	2	３２	1
１２	4	３３	2
１３	2	３４	4
１４	4	３５	3
１５	2	３６	4
１６	4	３７	1
１７	3	３８	4
１８	2	３９	4
１９	1	４０	1
２０	2	４１	3
２１	3	４２	2

消防設備士試験（乙種）解答（実技試験）

【第１類】

設問１		①	②	③	④
		ウ	イ	ク	キ
設問２	①	B			
	②	A			

【第２類】

設問１	A	フォーム・ウォーター・スプリンクラーヘッド
	B	フォームヘッド
設問２	B	

【第３類】

設問１	トーナメント　　形式
設問２	①　消火剤と放出用ガスの分離を防ぐため ②　ヘッドからの放射圧を均一にするため （①、②のいずれか１つで正解）

【第４類】

A	ア	エ
B	イ	ウ

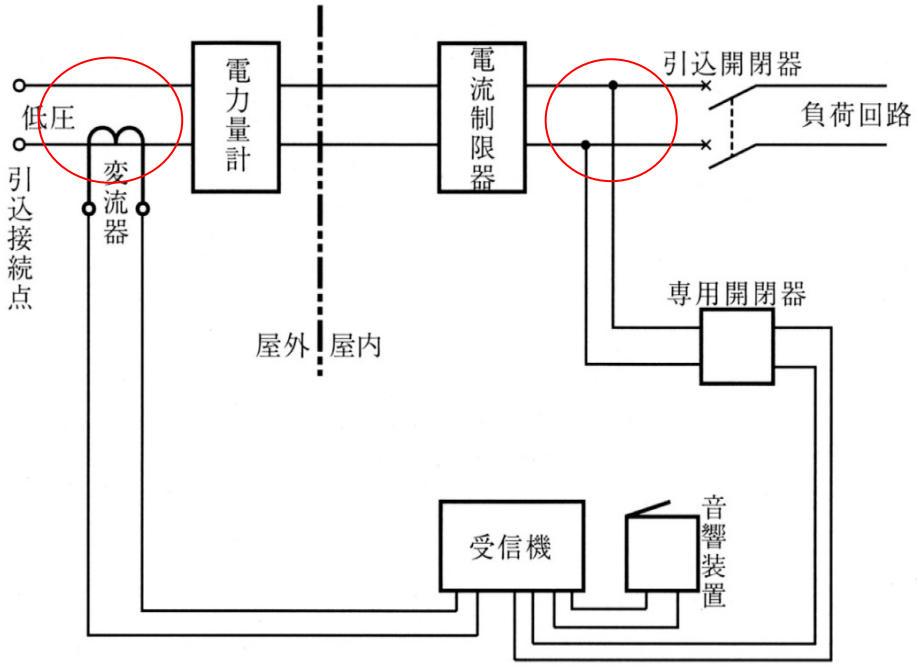
【第５類】

A	①つり下げ金具　②自在金具 （①、②のいずれか１つで正解）
B	突子
C	横桟
D	縦棒

【第６類】

A	安全栓	B	オ

【第７類】



変流器に警戒電路のうちの１線しか貫通させていない。
①受信機の電源を電流制限器の２次側から分岐している。 ②受信機の電源を電流制限器の１次側から分岐していない。 （①、②のいずれか１つで正解）